

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	サテライト特養ももやまだい	定員	28名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 恵生会	開設	平成23年5月1日
所在地	〒655-0854 神戸市垂水区桃山台5丁目1140番地	TEL	078-751-0006
交通アクセス	1.JR山陽「垂水駅」下車、山陽バス②「垂水東口」乗車、「桃山台3丁目」下車、徒歩5分 2.市営地下鉄「名谷駅」下車、山陽・神戸市バス⑩乗車、「桃山台3丁目」下車、徒歩5分	URL	平成26年度開設予定

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業					
介護老人福祉施設 通所介護 居宅介護支援事業	短期入所生活介護 認知症対応型共同生活介護 介護予防支援事業				
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)					
●介護・看護職員1名に対する入所者	1.6 名				
●介護・看護職員平均勤続年数	1.8 年				
●介護・看護職員平均年齢	40.6 歳				
●人材確保と育成の方針					
<p>新人職員には日々の指導の他、担当職員・リーダー職員が定期的に面接を行い、相談・支援を行っています。 また、定期的に内部研修を実施し、新人職員他全職員の知識・技術の向上に努めています。また、外部研修への積極的な参加も奨励しています。</p>					
3 施設の方針・理念					
<p>この施設を利用される皆様に 心地良く過ごしていただけるように 安心して生活していただけるように その人らしく生活していただけるように ご利用者・ご家族の気持ちを大切に、ご利用者の生活を考えます。この法人で働く職員は、常に笑顔で、お互いを尊重しあい、共に仕事にあたります。</p>					
4 施設の特徴					
<p>ご家族や地域の人々に見守られながら生活していただけるよう住まいを提供し、心地良く・安心して・その人らしく過ごしていただけるよう努めています。 全室個室・少人数のユニットでプライバシーに配慮し、ご入居者、ご家族、職員等が馴染みの関係を築き共に生活していける「家」づくりを目指しています。</p>					
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ					
<p>エアロビクス、音楽療法、琴、マジック療法、腹話術などのボランティアの受け入れを行っています。ご家族もボランティアとして多く参加して下さっています。 施設内・外の研修については積極的に参加するように努めています。</p>					
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)					
<p>地域の高齢者へはあんしんすこやかセンターを軸に地域の相談窓口であり、地域高齢者福祉の拠点となるように努めています。 また、運営推進会議等を通じ、地域住民との交流を深めるとともに、地域行事等にも積極的に参加するように努めています。</p>					
7 居室形態					
●種類	<input type="checkbox"/> 従来型 <input checked="" type="checkbox"/> 個室ユニット型				
●料金	<table border="1"> <tr> <td>居住費</td> <td>2,500円/日</td> <td>食費</td> <td>1,380円/日</td> </tr> </table>	居住費	2,500円/日	食費	1,380円/日
居住費	2,500円/日	食費	1,380円/日		
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)					
<p>毎年、敬老会をご家族参加で実施しており、多くのご家族にご参加いただいています。 個別の外出行事にもご参加いただいています。</p>					

■サービス提供体制

入所条件
<p>要介護認定を受けた方で神戸市の入所指針に沿って入所判定委員会にて判定しています。但し、経管栄養・常時吸引及び医療的行為が必要な方は受入できません。</p>
施設内自由度
<p>特に行動制限は設けていません。 但し、館内禁煙です。(屋外喫煙場所あり)</p>
居室の環境
<p>1F(Cユニット 12室個室) 2F(Aユニット 8室個室)・(Bユニット 8室個室) 馴染みの家具等の持ち込みをお願いしています。</p>
外出などの自由
<p>季節行事及び個別に誕生日などに職員とともに外出・外食を行っています。 入居者が特別に希望される内容については、ご家族と相談のうえ出来る範囲で外出援助を行っています。</p>
身体拘束・虐待防止対策
<p>法人全体で『よりよいケア委員』を中心に取り組みをおこなっています。 全職員を対象に研修を実施し、不適切なケアから見直しを行うように努めています。</p>
食事
<p>管理栄養士の立てる献立表により、栄養並びに入居者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供しています。 自立支援のため離床して食事をとっていただくことを基本としています。</p>
入浴
<p>個人浴槽を基本としていますが、寝たきりでも特殊浴槽を使用して入浴をすることが出来ます。個々のペースにあわせた入浴介助に努めています。</p>
排泄ケア
<p>排泄の自立を促すため、入居者の身体能力を最大限活用した援助を行っています。</p>
医療体制
<p>嘱託医(週1回)・看護師が入居者の健康管理及び療養上の指導を行います。</p>
ターミナルケアの実施
<p><input type="checkbox"/> 積極的に行う <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない</p> <p>看取りに関する指針を基に身体的・精神的苦痛を出来るだけ緩和し、最期を迎えるまでの間、穏やかに安らかに充実した日々を過ごしていただけるよう、精神面を中心としたケアを実施しています。</p>
認知症ケア
<p>認知症の方が環境不適應により、混乱、周辺症状に至らないよう、馴染みの関係性、安心して利用できる環境づくりに努めています。</p>
アクティビティ
<p>エアロビクス等、体を積極的に動かす物や・マジック療法・水彩画・手芸等を行っています。 ご入居者の意向に沿った外出にも取り組んでいます。</p>

特別養護老人ホーム サテライト特養ももやまだい

総合評価

- ◎ 開設して3年であり、まだ年数は経っていないが施設長の強いリーダーシップのもとに良くまとまっており、日頃の職員管理の徹底や定期的な全体会議における各職員の意見もよく取り入れるなど積極的施設運営がなされている。
- ◎ 利用者の皆さんに対するやさしいルール決めはなされているが、特別な行動制限はなく、自由に外に散歩に行けるなどの普通の健康状態が保持できるよう取り組みがされている。
- ◎ 地域密着型施設の特徴があり、継続的な運営を保持するには積極的な外部との繋がりや外部への情報発信が大事である。一応の取り組みにはされているが、施設から地域に参加を呼び掛ける行事、講演会などが不足している。
- ◎ 今回の調査では一般職員のみとのヒアリングが出来ず本音のところで問題点はつかめなかった。利用者からの苦情は今までに1回もないとのことであったが、苦情に対する定義がグレートもいえるのでこの点は一般的には疑問視される。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 昼食時における職員の利用者への細やかな補助、静かに優しく丁寧に対応されている。また職員1名に利用者1.6名と余裕があり利用者に合わせた勤務体制がくみいれられている。
- ◎ 長期目標は策定されていないが、理念と基本方針を実践するため各計画の実施状況の把握や評価をすべての部署において職員などの参加のもとで実施されており、施設のサービス面だけでなく施設運営の改善に積極的に取り組んでいる。
- ◎ 利用者に対して1人1人に配慮し、適切な食事の提供がされている。昼食時、利用者5人位に聞き取りした中で特に不満の声もなく、細やかな介助が親切丁寧に行われている。食事の雰囲気も入居者相互の会話もあり、食事を楽しむことが出来るよう職員の声掛けも自然にされている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 玄関入り口の掲示板に沢山の文書を貼られているが、形だけにしか受け取れず内容把握ができない。見やすい掲示方法に考慮すべきである。
- ◎ 苦情解決の仕組みとして苦情箱を設置しているが、利用者はまったくなしの状況。「施設に一言」など、もっと柔らかい幅広い表現に欠けている。
- ◎ 地域の社会資源の活用はされているが、少子高齢化社会に対応できるよう施設全体で積極的にボランティアや実習生の受け入れに対する取り組みの必要がある。当施設においては現在実習指導者に対する研修や受け入れ態勢が充分であるとは言えない。

